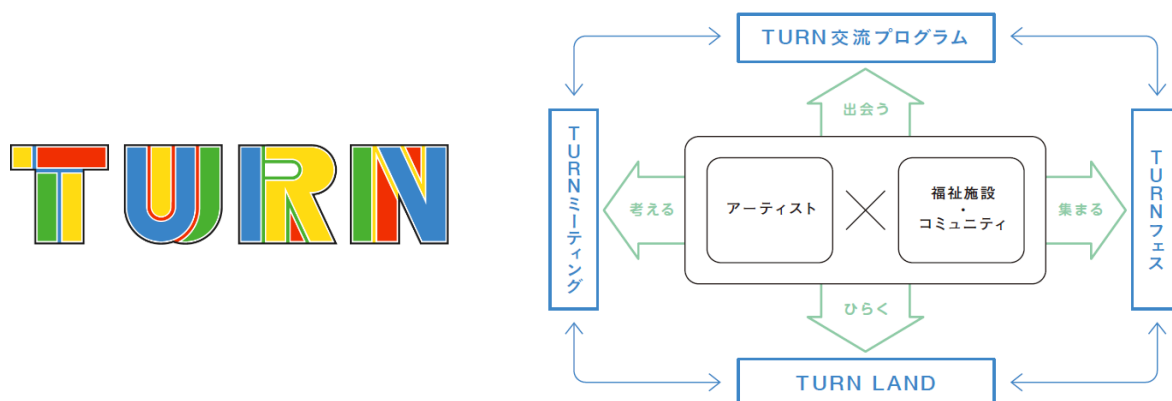


令和3(2021)年3月30日

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
特定非営利活動法人 Art's Embrace
国立大学法人東京芸術大学

「TURN」 令和3(2021)年度事業のご案内



「TURN」とは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。「TURN」を創り出す4つのプログラムー「TURN 交流プログラム」で＜出会う＞、「TURN LAND」で＜ひらく＞、「TURN フェス」で＜集まる＞、「TURN ミーティング」で＜考える＞ーの実践と有機的な循環を促すとともに、広くその意義を発信します。

リーディングプロジェクトとして始動してから7年目を迎える令和3(2021)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により日々変化する社会環境に対応しながらもより豊かに展開できるよう、オンラインを用いた実施方法含め、新しいアプローチを視野に展開していきます。また、さまざまな人々との交流に向けて、異なる知覚と環境に対応したアクセシビリティにおける知見を深め、インクルーシブな実践に取り組みます。

- ・主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学
- ・共催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- ・監修：日比野克彦（アーティスト、東京芸術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

※本事業は、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団がオリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩なプログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の主要プログラム、また「東京 2020 NIPPON フェスティバル」の共催プログラムとして実施します。

※「TURN」令和3(2021)年度事業の詳細は、別紙の事業一覧をご覧ください。

※本事業は、マスクの着用や手指・道具等の消毒、3密回避など、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で実施します。

具体的な対策については各プログラムにてご案内します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等により、状況により開催日時や内容等を変更する場合があります。

<本リリースに関するお問い合わせ>

TURN 運営本部 Tel:03-3824-9039(10:00-17:15 土日祝日を除く)

E-mail: info@turn-project.com

「TURN」令和3(2021)年度事業一覧

※事業内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

1. TURN 交流プログラム

アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティへ赴き、その場所を利用する人や支援者等との交流を重ね、相互に関係しあうプロセスを構築します。



マチーデフ×豊島区立心身障害者福祉ホーム
さくらんぼ



伊勢克也×桃三ふれあいの家



パボとユミ×上町工房

※新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン等による遠隔での交流も実施します。
※プログラムの様子は、TURN 公式ウェブサイトのタイムラインでご覧いただけます。

2. TURN LAND

TURN を日常的に実践する場「TURN LAND」を展開します。

交流先施設の LAND 化

福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに市民も参加可能なプログラムを企画します。従来のケアや支援の機能を持った場所に、市民が集まることのできる地域にひらかれた文化施設としての役割を加えます。



クラフト工房 La Mano (町田市)



気まぐれ八百屋だんだん (大田区)



ハーモニー (世田谷区)

TURN 運営本部

NPO を中心とする事務所機能と、「TURN」の運営を補助する「サポーター」を多く輩出できるよう、研究会や研修プログラム等も実施する情報発信のハブ機能を担います。

※新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン等による遠隔での交流も実施します。
※開催日・プログラムの詳細は、随時 TURN 公式ウェブサイトにてご案内いたします。

3. TURN フェス6

各地で展開している「TURN 交流プログラム」や「TURN LAND」等を通して育んできた活動を紹介するとともに、オリジナルプログラム等の実施を通して、アクセシビリティやダイバーシティに関する理解を深める機会をつくります。また、社会状況に応じて2020年度にアーティストや各方面の専門家たちと展開したTURNに関わるリサーチ「TURN ラボ」から生まれた新しいアプローチを共有する場を通して、持続性のある活動のあり方を思考する機会を創出します。

開催概要

- ・日程:2021年8月17日(火)～19日(木)
- ・会場:東京都美術館 ほか



2019年度会場風景
池田晶紀と
きょうされんリサイクル洗びんセンター、
シュレー大学



2019年度会場風景
大西健太郎と板橋区立小茂根福祉園



2019年度会場風景
マダム ボンジュール・ジャンジほか

※プログラム詳細については、別途発表します。

4. TURN ミーティング

「TURN ミーティング」は、TURNを共有し、意見交換するひらかれた場です。参加アーティストや交流先メンバーなど関係者とともに、スペシャルゲストを招いたトークやTURNについてのディスカッション等を繰り広げます。



第8回TURN ミーティング (2019年5月)



第11回TURN ミーティング (2020年9月)



第12回TURN ミーティング (2020年11月)

※プログラム詳細については、別途発表します。

5. 海外展開

日本国内のみならず、東京藝術大学及び国内外の文化芸術機関等と連携し、海外でも実施しています。これまで世界6か国(アルゼンチン、ペルー、ブラジル、エクアドル、キューバ及びポーランド)で活動を展開しました。



TURN in HAVANA (2019年)
中村奈緒子、ルース・マリエット・トゥルエバ
[キューバ]



TURN in TUCUMAN, BIENALSUR (2019年)
曾根麻衣
[アルゼンチン]



TURN in Poland (2019年)
許允(ホ・ユン)
[ポーランド]

6. 広報・ドキュメント

「TURN」の活動をことばに綴る「TURN NOTE」、「TURN」を多角的に集録する「TURN ジャーナル」を制作、発行します。また、公式ウェブサイトや SNS を通して、「TURN」を積極的に発信していきます。

■TURNとは

TURN とは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクト。アーティストの日比野克彦監修のもと、東京 2020 大会の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして平成 27(2015)年度に始動しました。平成 29(2017)年度からはオリンピック・パラリンピックの東京 2020 公認文化オリンピアドとして事業を実施。令和 3(2021)年度は東京 2020 NIPPON フェスティバル共催プログラムとして事業を実施します。様々な分野の機関と連携・協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指しています。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外へ発信するとともに、「TURN」の考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していきます。

<https://turn-project.com>

< 事業内容に関するお問合せ >

TURN 運営本部

Tel: 03-3824-9039 (10:00-17:15 土日祝日を除く)

E-mail: info@turn-project.com

